やすらぎ通信

春季彼岸号

「やすらぎ大学」を開校して

終活という言葉を新聞等で見ない日はありません。少子高齢化の時代であることをつくづく思います。昔の映画「東京時代」にでてくる役者さんが六十才なのにたいそうな老人の姿には驚いたことがあります。昔と今と老人のイメージが十才も二十才も違うのです。本当に今の世代のご老人は元気です。食べ物や生活環境や医療の発達により、正直死ぬに死ねない状態です。日本は他国に比べて平和であることは間違いありません。外国では日夜戦争に明け暮れている処がなんと多いことか。それに比べて、テレビを見れば、ラーメンの味比べ、サプリメントの宣伝、旅行の案内等なんでもありのしあわせ状態です。なんと日本は平和なんでしょうか。でも、本当に心から平和と思われているかというとそうでもないですね。介護問題やそれに関わる諸問題が新聞紙上に毎日報道されるようになりました。

さて、やすらぎ大学と命名し、昨年春、知識欲旺盛な方々を対象に開校いたしました。なんと、四十名余の皆様の申し込みがあり、すごいなと思いました。超宗教の各宗旨御僧侶に快諾していただき、講話をお願いしております。聴講される皆様が大変熱心に聞かれるので、話される御僧侶も驚いておられます。心の時代と言われて長くなりますが心のオアシスの場を提供していきたいと考えています。

月一回、年十回（七月、八月休講）第三火曜日午後一時半より、代金は年間で一万円です。聴講される方は千三百円です。皆勤者には記念品が授与されます。本堂にて般若心経読誦、講師紹介。書院にて一時間の講話と茶話会三時まで、講師様は今まで曹洞宗、臨済宗、浄土宗、浄土真宗の御僧侶に二回ずつお願いしました。来年度は他宗の御僧侶にも講話をお願いしています。

お葬儀やご法事は大切なセレモニーですが更に大切なのは皆様の心の平安にあります。答えはお釈迦様のおしえにあります。それを学ぶことにより本当の幸せ感が得られるでしょう。終活の目的は自分の人生に悔いのない人生のあり方だと思います。小生も六十九才になり、子弟もようやく育ちはじめ、これからが正念場と考えています。三十年間いろいろと皆様に助けられてきましたが、これからは、お返しをする番だと考えています。まだまだ、社会のお役にたてていないと実感しております。悔いのない人生を祈念します。

三明寺住職　大嶽正泰　合掌

3 月 17 日今年度最後の講話は三明寺住職です

１・２月講話は大聖禅堂主の上村貞嘉師

【檀信徒行事】

三月

○道了講　3日
○地蔵講　17日
○やすらぎ大学　21日
○春彼岸ペット供養会
○春彼岸檀信徒供養会
○渡部家御法事　27日
○野崎家御法事　28日
○中村家御法事　29日
○青山家御法事
○芹澤家御法事　30日

四月

○道了講　7日
○橘家御法事　11日
○塩崎家御法事　18日
○地蔵講　21日

五月

○小針家御法事　3日
○大石家御法事
○大堀家御法事
○道了講　5日
○地蔵講　19日
○じぞう寄席　24日

【三明寺やすらぎ大学】

○講話　第3火曜日　13時半
○坐禅　第2月曜日　19時半
○写経　第3月曜日　10時
○読経　第1・3火曜日　10時
○御詠歌第1・3火曜日　11時
○坐禅　毎週日曜日　6時
○写経　毎週土曜日　6時

＊四月より文化倶楽部の名称をやすらぎ大学に変更し、内容を更に検討したいと考えています。

【住職・寺族行持】

三月

○大泉寺大般若　8日
○桐ケ谷寺彼岸供養会　18日
○興福寺大般若　29日

四月

○沼津市仏教会花祭り前夜祭　7日
○慈雲院大般若　12日
○顕光院結制　26日
○桃源院大般若　29日

五月

○竜音寺大般若　3日
○楞厳院結制　10日
○梅花講全国大会　26日

【お知らせ】

□花祭り

四月八日はお釈迦様のお生まれになった日です。週末には甘茶の用意をしますので、門池の桜をみながら、お花見のついでにお参りください。

□ペットにやすらぐ時代

ペットの供養をさせていただき数年になりますが、益々、ペットが家族の一員としてわが子のように愛おしんでいらっしゃったことが感じられます。彼岸には合同供養会があります。どうぞお参りください

□共同墓地に永代供養する人が多くなりました

特にここ数年、問い合わせが多くなりました。少子高齢化の時代に入り、残された人達に負担をかけないよう生前よりお申込みの方もいます。お気軽にご相談下さい。

□写経会教室に参加してみませんか

坐禅やお写経会が静かなブームです。指導は山本芙美子先生です。　参加料は千円

□梅花流御詠歌へのおすすめ

寺族指導による詠賛歌を唱えるお仲間を募集しています。男性も大歓迎です。

□「やすらぎ大学」講話の会二年目の開校をします。

年間一万円。月一回。七月、八月、休講。第三火曜日午後一時半から三時までです。どうぞ、対象は限りません。心を安らぎたい人は参加してください。他にはない企画です。

【後記】

通信を作成し、また同じような写真だな、一年が早いなと思います。過去の記事や写真の中には故人の方もいらっしゃりこんな時期もあったと思い出されます。変わったのは子供たちの姿。四月から、また一人家を離れ生活する息子がいます。早い一年、それが充実の一年でありたいものです

（H）

年会費・墓地管理費等の口座引き落とし

四月は墓地管理費等の会費をご指定の口座より引き落とさせていただきます。再請求の無いように必ず残高の確認をお願い致します。

経理担当者

平成二十七年三月一日　第五十四号
発行（宗）曹洞宗　大嶽山　三明寺
編集　大嶽　正泰
住所　沼津市大岡三明寺四〇五一
電話　〇五五・九二九・二三二三
ＦＡＸ　〇五五・九二九・二三二四
ＵＲＬ　http://www.sanmyouji.com
メール　info@sanmyouji.com

子供たちの餅つきと鏡もち作り体験

万灯供養と鎮火祭、除夜の鐘

寺族会研修旅行　山形　雪の山寺　蔵王の樹氷

第 106 回じぞう寄席　三遊亭楽之介師匠
落語会世話人さんと師匠を囲んで

節分祭、大般若（2 月 1 日）

近隣の御寺院の皆様に大般若経をよんでいただきました

お寺でのかけ声は「福は内」だけです

文化クラブ　写経会

大きな文字にチャレンジしました
彼岸会には日頃の写経を奉納します